



黄色く見えるのがイボニシの卵囊 (羽田空港浅場砂留堤 2012年7月)



写真左：イボニシ集団産卵 (黄色部分)



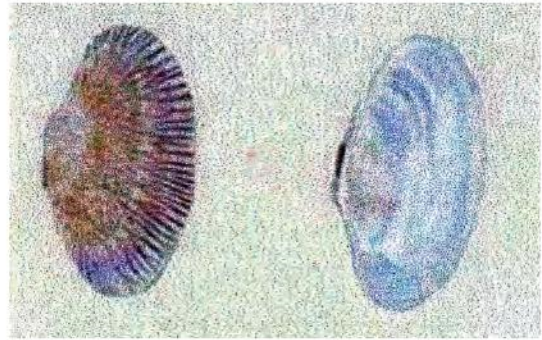
写真右：卵囊部の拡大

イヨスダレ *Paphia undulata* (Born)

(六介) 伊予簾







イヨスダレ絵図 目八譜 天保 14 年(1843 年)

マルスダレガイ科 殻長 4cm。殻は薄質、膨らみは弱い、殻表は光沢があり、紫褐色の地に濃色の放射状の網目模様が放射状に配列、美しい貝だが、本海域のものは、そうとも言えない。分布は房総半島以南。

### ウスカラシオツガイ *Petricola* sp.

イワホリガイ科 移入種。ただし原産地は不明(地中海・南米等)。1980 年代日本で見られるようになった。京浜運河で 1987 年(青野良平)。殻長 1cm 頃から成長と共に殻が不規則に歪み不定形となる。殻は薄質軽量。学名の *Petricola* とはラテン語で岩に棲む者。イワホリガイ科の貝は、通常、柔らかい岩に穴を彫って生息するが、本種には、そのような知見は無く、ムラサキイガイの群落の中等に生息。

\*岡本正豊(2008 年)千葉市人工海浜のウスカラシオツガイについて ひたちおび 109



千葉市幕張の浜(岡本正豊 2004 年 9 月)